



石動山城



かつてヒュッテが置かれていた本丸（主郭）

所在地：石川県鹿島郡中能登町石動山
 立地：尾根頂部、標高519m
 城主：石動山天平寺、上杉謙信、青木信照・大屋勝重（前田利家家臣）
 時期：戦国
 見学時間（参考）：20分～40分

石動山の最高峰大御前（564m）から東に下る尾根に占地し、石動山七口のひとつ、多根道を見下ろす位置に築城されている。現在の主郭に上る道は、かつてヒュッテが置かれていたときの破壊道で、西の大御前側に主郭に入る虎口があったと考えられている。



石動山資料館
周辺に駐車場あり

天正4年（1576）七尾城攻略を目指す越後の上杉謙信が、七尾城の後方を押さえるために石動山城を築き直江大和守を置いたとされるが、遺構の特徴は他の石動山城郭群と同じであり、築城の主体は石動山衆徒であったと想定される。謙信が石動山に本陣を置いたのは、七尾城との地理的要因だけではなく、越後が古くから天平寺の知識米を寄進する地域だったことから、永禄12年（1569）に天平寺は謙信の武運長久祈願もして、この関係も要因のひとつと考えられている。天正5年9月、畠山家臣の遊佐氏・温井氏らの内応により七尾城は落城し、戦勝の宴を石動山大宮坊で開いている。



資料館近くの登城口

天正10年（1582）6月、石動山合戦で織田方の佐久間盛政・前田利家連合軍に敗れ、石動山は全山焼亡した。その後、前田利家と越中の佐々成政が対立する中で、七尾城の背後を守る能越国境の要衝として、前田方の青木信照と大屋勝重が在城し、成政が降伏する天正13年まで続いた。



多根道と通じる尾根道には堀切がはっきり残る



大宮坊



本丸から七尾城遠望

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>